

軸（コア）を強化することで 動きやすいからだ作りをサポート

1986年にアメリカ留学の際、スポーツ選手の治療、リハビリ、トレーニングが組織的に行なわれていることを経験し、いつか治療から復帰まで一貫したサポートができる施設を作ることが夢でした。今回設立のC-Linkは、医療とフィットネスが融合した従来にない施設です。トレーナーの小柳さんと出会い、夢が実現しました。中高年のロコモティブシンドローム（運動器症候群）のケアから予防。また、スポーツ選手まで幅広い層に、医学的検査・ケアとトレーナーによる指導の両面のメリットを一施設で受けることができます。からだの中心である「体幹」「体軸」を動きの基本ととらえ、動けるからだ、使えるからだづくりをサポートします。（菅原 誠談）



医療 × フィットネス = メディカルフィットネス

Health care × Fitness = Medical Fitness

メディカルフィットネスC-Linkは、松田整形外科記念病院内に併設する、北海道初の整形外科メディカルフィットネスです。当施設は、「健康の第一歩…」として、機能的に「動ける身体、使える身体を作る」をコンセプトに、一人一人の身体の評価から、課題や問題の抽出、目標設定、コンディショニングプランの作成と実施を行います。「膝や腰などが痛い」「怪我から復帰したい」「からだをひきしめたい」「パフォーマンスアップ」など、日頃から悩んでいる方からスポーツ選手まで、あらゆる方を対象にサポートいたします。



菅原 誠

医療法人松田整形外科記念病院理事
長・院長。専門分野はスポーツ整形
外科。念願であったメディカルフ
ィットネス施設C-Linkを設立。



小柳 利哉

トレーナー・鍼灸師としてウインター
スポーツを中心に第一線で活躍中。C-
Linkの事業企画室室長としてプロ
デュース。

オトン世代の健康づくりには、 治療とトレーニングの両輪で

「自分で動くこと」が健康への第一歩です。バランスのいい体作りには、医療とトレーニングの両面からアプローチすることが非常に効果的であり、また安全面でのメリットも大きい。適切なメディカル面でのケアと専門のトレーナーによるフィットネス指導が一体化することで、「動ける」体作りはもちろんのこと、ロコモをはじめとした中高年の世代が気をつけなければならない様々な障害の予防にもつながります。C-Linkの「C」にはCherish（体を慈しむ）の意味も込められています。仕事に生活に充実度を深めていくオトン世代の人たちにこそ、「医療」と「フィットネス」のプロフェッショナルによる総合的な「メディカルフィットネス」で自身の体を慈しんでいただきたいですね。

（小柳 利哉談）

2009.12.10
Webにて会員登録受付開始
2010.1.10 OPEN予定

募集会員
限定
300名



メディカルフィットネス C-Link
札幌市北区北18条西4丁目1番35号
TEL.011-746-3673 (12/10~)
詳しくはHPをご覧ください



モバイルサイト

www.mf-clink.com/m/